

epoca

vol.114 2015.06

エポカ

特集

あなたは何のために

スキルアップ

しますか？

“スキルアップ”とは何でしょう？

それは、「体験を通して学ぶこと」ではないでしょうか。私たちは生まれてから死ぬまで、多くのことを体験して学んでいきます。箸の持ち方から車の運転の仕方、人とのコミュニケーションの取り方まで、意識していたり、いなかったり、生きていくうえで体験し学ぶことのすべてが、人生のスキルとなります。

では、私たちは何のためにスキルアップをするのでしょうか。

人によってその目的は違うでしょう。仕事や趣味を極めるため、視野を広げるため、人生の目標を見出すためなどなど、私たちは様々な目的でスキルアップしようとしています。

あなたが本当に知りたいこと、やってみたいこと、困っていること、あなたを取り巻く環境について改めて考えてみて、あなたが人生を自分のものとして、納得できる生き方をするために何ができるでしょう。

私たちは、それぞれが違った価値観を持って人生を歩んでいます。スキルアップとは、人生においてあなたしか知らない答えを発見するために体験することです。あなたの人生に必要なスキルは、あなた自身が自分の体験を通して学ぶことでしか、体得できません。

その時、自分の心的・物的充足だけでなく、他の人や社会への影響・貢献を考えることが大切ではないでしょうか。仕事や趣味等、さまざまな活動を通して社会とつながる価値、他の人や社会との関係における存在の意義を意識することで、社会性を持った取り組みが可能となります。

あなたは何のためにスキルアップしますか？

あなたにとって必要なスキルは何ですか？

あなたの人生の目標は何ですか？

仕事、家庭、地域でひとりひとりが豊かな人生を送るために、他の人や社会に貢献するために、一歩踏み出しませんか？



6/23

6/29

男

女

共

同

参

画

週

間

今年のキャッチフレーズは

地

域

力

×

女

性

力

=

無

限

大

の

未

来

!

身近な女性の活躍が地域社会を元気にすることを、この機会に考えてみてはいかがでしょうか？

講演会

平成 27 年度「男女共同参画の日」記念事業

「絶対幸せになる生き方・考え方」

～女性が生き生きと活躍できる社会を目指して～

大淵 愛子氏 講演会

(アムール法律事務所代表弁護士)

大学在学中に司法試験に合格し、24歳で弁護士になりましたが、若いことや女性であることから、社会において一人の弁護士として認められることの難しさを長らく味わってこられた大淵さん。何度も仕事を辞めたいと思いつつも、逃げていても始まらないと、一念発起して独立開業されました。講演では、大淵さんのこれまでの経験を交え、女性が生き生きと活躍できる社会を実現するために、自分らしい生き方・考え方についてお話いただきます。



日 時：7月18日(土) 14:30 開演

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ 大ホール

定 員：先着 300 人(入場無料)

※託児あり(事前要予約 1才半～未就学児 先着 15名)

申込先：静岡県男女共同参画課 TEL：054-221-2824 FAX：054-221-2941

U R L：あざれあナビ → 講座・セミナー・イベント情報 で検索

男女共同参画社会づくり

宣言事業所・団体

IT コンサルティングファーム

株式会社 NOKIOO (浜松市) <http://www.nokioo.jp/>

■創業4年、積極的なチャレンジ

平成 27 年度静岡県男女共同参画社会づくりの宣言事業所の部で知事褒賞を受賞した(株)NOKIOO(ノキオ)を訪問し、創業メンバーであり取締役の小田木朝子さんに話を伺った。

2011 年創業でまだ 4 年の若い会社である。にもかかわらず、業績は順調に推移している。業種は IT のインフラや WEB サイトの構築を柱に、子育てママの社会参画を支援する事業も立ち上げた。

■生活スタイルに合わせた新しい働き方

同社は設立時から新しい働き方を目指してきた。在宅ワークやフレックス制度は全社員が利用可能で、育児や介護など家庭の事情で制約があっても働ける。毎週金曜日を全員出社の日に設定し、デスクは指定席のないフリーアドレス制。これらを社内ではノキオスタイルと呼んでいる。このような働き方は、自己の裁量に委ね、個人個人が責任を持ち自分を律して働き、社員間の情報共有もできており、モチベーションは高く、新しい事業に積極的にチャレンジする気運が醸成されている。「世界でも通用する事業を育てたい」と小川社長はブログで語っている。



取締役 小田木朝子さん
「子育てはブランクではありません。」



■子育てはブランクではない

小田木さんは、自らも子育て中であり、子育てをしながら頑張っている女性を応援したいと ON-MO(オンモ)プロジェクトを運営。「子育てはブランクではありません。子育ての隙間時間を有効活用し、働くためのスキルアップや情報収集に取り組む『育勉(いくべん)』を実践しましょう。子育て期こそ自分磨きの時期です」と語り、女性の幅広い社会参画を支援している。

NOKIOO のさらなる積極的なチャレンジに期待したい。

社内会議の様子。全員が自分のノート PC で仕事をし、座席もフリーアドレス。

宣言事業所・団体 1,240 件
(平成 27 年 4 月 1 日現在)

セミナー

「女性のための起業支援セミナー」

～きっとあなたにもできる！自分で始める仕事の一步～

講師：小出 宗昭氏

(富士市産業支援センター「f-biz」センター長)

日 時：6月12日(金) 18:30～20:30

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ 501 会議室

対 象：起業したいと考えている、または起業して間もない県内在住の女性

定 員：先着 40 人(参加無料) ※託児あり(事前要予約 1 才半～未就学児 先着 15 名)

申込先：静岡県男女共同参画課 TEL：054-221-3122 FAX：054-221-2941

U R L：[あざれあナビ](#) → [講座・セミナー・イベント情報](#) で検索



募 集

静岡県男女共同参画会議委員

仕事内容：年2～3回程度開催予定の会議に出席し、男女共同参画の推進に関する施策等について審議

応募資格：県内に在住する年齢 20 歳以上の男女で、男女共同参画の推進に関心のある方

募集人員：4 名程度

任 期：2 年間(平成 27 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日)

報 酬：県の規定による謝金と旅費

応募方法：専用応募用紙に必要事項を記入の上、小論文を添えて提出

応募用紙ダウンロード www.pref.shizuoka.jp/ → [男女共同参画課](#) で検索

募集期間：平成 27 年 7 月 1 日(水)～7 月 31 日(金) ※31 日消印有効

応 募 先：静岡県男女共同参画課 TEL：054-221-3122 FAX：054-221-2941

あざれあ地域協働事業 募集します

事業目的：静岡県内の地域で活動している団体が、地域の自治組織、民間団体、教育機関、企業、市町と連携協働して、男女共同参画の理解を促進するために行う事業を助成します。

事業内容：地域において男女共同参画を進める研修会、講演会、意見交換会の開催、啓発誌の発行、調査・研究等

事業費：上限 15 万円まで助成

選考方法：第 1 次選考 書類審査 → 第 2 次選考 プレゼンテーション審査

実施期間：平成 27 年 8 月～12 月

応募方法：規定の書類をあざれあ交流会議事務局まで送付 書類ダウンロード www.azarea-navi.jp/ で検索

応募締切：平成 27 年 6 月 22 日(月) 当日消印有効

応 募 先：静岡県男女共同参画センター交流会議事務局 TEL：054-250-8147 FAX：054-251-5085

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1 e-mail：azareachiiki@gmail.com

あ ざ れ あ 相 談

悩んだとき、困ったときには「あざれあ」へ

〈女性相談〉

すべて女性の相談員、医師、弁護士による相談です。安心してお電話ください。

0558-23-7879 賀茂

055-925-7879 東部

054-272-7879 中部

053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。

時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00～16:00

水曜日 14:00～20:00

第 2 土曜日 13:00～18:00

※いずれも日・祝を除く

面
接

要予約・託児つき・無料

あざれあ女性電話相談の番号におかけください。

月	火	水	木	金
DV・ その他暴力 10:00～15:00	偶数月第4 精神科医相談 14:00～16:00	DV・ その他暴力 14:00～19:00	DV・ その他暴力 10:00～15:00	奇数月第3 精神科医相談 14:00～16:00
	第1・第3 弁護士相談 (離婚・相続等) 13:00～16:00			

〈男性電話相談〉

生き方・家庭・仕事・健康等の悩み
男性相談員が対応します。

054-272-7880

毎月第 1・3 土曜日 13:00～17:00

〈チャレンジ相談〉

「再就職したい」「起業したい」
「NPO を作りたい」等

予約：054-221-2824

完全予約制 女性限定

託児つき(無料)

偶数月第 3 土曜日実施：

① 13:00～ ② 14:00～ ③ 15:00～

奇数月第 3 水曜日実施：

① 9:30～ ② 10:30～ ③ 11:30～

『ファシリテーターの道具箱』

組織の問題解決に使えるパワーツール 49
森時彦、ファシリテーターの道具箱研究会
ダイヤモンド社 2009年



場の雰囲気を変えるアイスブレイクや話しやすくなるためのグラウンドツールなど、ファシリテーションを実践するための49のツールを紹介する。自分自身のステップアップにも役立つ。

『スッキリ！気持ち伝えるレッスン帳』

八巻香織
新水社 2012年



自分の気持ちの読み解き方から、こちよ気持ちの伝え方までをエクササイズ、レッスン、ロールプレイを通じて学べる。アサーティブなコミュニケーションスキルを成長させることができる。

『協働コーディネーター』

参加協働型社会を拓く新しい職能！
世古一穂
ぎょうせい 2007年



NPOや行政などのネットワーク内や、異なるネットワーク間での協働を総合的にコーディネートする「協働コーディネーター」。基本的な知識や、評価のポイント、実践例を紹介する。



図書室利用案内

貸 出：図書5冊、ビデオ・DVD2本（2週間）
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
休 室 日：第1・3・5日曜日、年末年始、図書整理日
TEL：054-255-8763 / FAX：054-255-8759

----- この人に聞く！ ----- 園部真由美さん ----- 共同参画ワーキンググループ「トゥルー・カラース・プランニング」代表 -----

「あなたは何のためにスキルアップしますか？」

●これまでの道のり●

そもそも私の男女共同参画の知識はゼロでした。社会人になり、物事がうまくいかず世の中おかしいと思いながらも、自分の運が悪く能力が足りないからあきらめようと言いつけてきました。その後、カナダでのボランティア活動や、夫の赴任に伴うメキシコ生活において、日本とは全く違う社会構造の中で人々の苦悩と現実とにふれた経験が、私の活動の原点にあります。

帰国後、島田市へ。小さな子ども連れで頼る親戚もなく、アパートで子育ての毎日でした。ちょうど防災を学びたいと考えていた頃、東日本大震災が発生。震災の翌日、市役所に「自分に何かできることはないか？」と電話しましたが、結局物資を送るくらいで、大災害を前に役に立たない自分に心が痛みました。それまでの人生で、住む場所や立場が変わるたびに一生懸命やってきましたが、自分を社会に活かしている充実感がない状況が長く続いていました。

その頃、地域参加のきっかけにと島田市の男女共同参画広報誌の編集員になりました。当初、男女共同参画の知識が全くなかったのですが、1年ほど経った頃、それまでぼんやりとしていた焦点がピタリとあってきました。自分の人生が、ジェンダーの視点から見えることに気づいたのです。女性であることで受け入れざるを得なかった、あきらめざるを得なかった社会に、長年生きてきたことに初めて気づいたのです。

日本は経済的に豊かで恵まれた国です。にもかかわらず、なぜ個人の能力を発揮しづらいのかと考えた時に、自分が悪い、運がない、仕方がないと思いこんでいる人が多いのではないのでしょうか。しかしそうではなく、これまで「体が健康な成人男性」が主となって物事を決定してきた社会に、女性や障がい者などの社会的弱者、若者、子どもたちの声が反映されてきたのだろうか？逆にそこに自分たちの人生を合わせようとして生きてきたのでは？と気づいたのです。その時から目が覚めました。世の中のからくりが見えてくると同時に、競争社会で苦悩する多くの男性も知りました。最大のマイノリティである女性や社会的弱者の視点や能力、感性が反映されれば、より多くの人が豊かで生きやすい社会になるはず。ジェンダーに苦しんでいるのは女性だけではなく。立場を超えた多様な視点と理解を取り入れることは最大の危機管理。より強くしなやかな社会に繋がるのです。



●これからの道のり●

2012年に仲間と立ち上げた、共同参画ワーキンググループ「トゥルー・カラース・プランニング」は、メンバー4名が仕事や子育ての傍ら、家庭科講座・防災・国際理解・婚活などの企画実施や情報発信を通し、ジェンダー平等（男女共同参画）とダイバーシティ（多様性）の視点を伝える活動をしています。名前の由来は「本来の自分らしさ」です。私たちはひとりひとりが自分らしい色（＝個性や可能性）を持っています。それらを発揮しやすい社会が理想ですが、実際の活動は非常に難しいです。今の日本にはまだ、本来のジェンダー平等の本質や良さが理解されていないと感じます。これからの男女共同参画には、長年本腰を入れなかった「より多くの人々の理解」という土壌作りが最も大切です。たくさんの種が芽を出し、育って、それぞれが鮮やかな花を咲かせ、実を实らせるための豊かな土壌をいかにつくるか。その効果はすぐに見えませんが、時間をかけてゆっくりと育てることが必要で、非常に地道な作業となります。身近にある「男だから・女だからこうあるべき」という固定的価値観に向き合い、地道にほぐしていくことが大切です。具体的には、トップの理解と行動、組織や政策の予算・意思決定の場により多くの女性が入る、家庭や地域社会へより多くの男性が関わるなど、垣根を超えることが必要です。

●「スキルアップ」とは？●

スキルアップしようとは意識しておらず、知らない世界や相手をより理解したいという好奇心が私の原動力です。あえて言えば私にとってのスキルアップとは、「もっと自分を好きになるための働きかけ」です。長所も短所も含め、より自分を愛することが、より他者を愛することに繋がります。周囲には、真面目で能力が優れているのに自己肯定感が低い人が割と多く、背景には今の社会の「生きづらさ」を感じます。まず自分を客観的に認め、愛すことで、次に他者に目を向けることができる。社会を変えるきっかけは、そこから生まれるのではないのでしょうか。

この春から、大学に通い始めました。年齢は関係なく、学びたい時、学べる時が学び時。自分自身が豊かになるために、新しい視点を得る小さなチャレンジをぜひ始めてほしいです。

理想は、誰もが自分らしさを発揮しあえるトゥルー・カラースな社会。互いの違いや大切にしたいものを尊重し、「あなたがいてくれるからうれし」と思いあえる社会です。少子高齢化、人口減、雇用、格差、社会保障・・・課題山積みの日本をどう進めるのか。

次のステージへ、これからは私たちひとりひとりのやる気と知恵と可能性を活かしあう時代です。